令和5年度

COMPASS. 香美

事業所における自己評価結果（公表）

対面日：令和５年 10月 13日
公表日：令和６年　３月　７日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が効率的運営等又はサービスの関係で適切である	6		国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは室の使用に応じて適切に配置・利用しております。	
	2	職員の配置数は適切である	6		国の定める配置基準では、事業所に管理業務管理責任者・管理者を１名以上配置、児童10名までに職員２名を配置、それ以上の児童が利用する際には、児童６名ごとに職員１名ずつ増員するというものになっており、その基準を厳守しております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造された環境になっているか。また、障がい特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリーや情報伝達等への配慮が適切になされている	6		生活空間は、児童にわかりやすく構造化され、児童の動線を妨げないよう適切な配慮がなされています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、児童たちの活動にふさわしい空間となっている	6		定期的にリフレクション会議やミーティングを行い、日々の業務改善や療育内容の見直しをしています。	
業務改善	5	業務改善を進めるために PDCA サイクル（日標設定と振り返り）に、どこに職員が参画しているか	6		定期的にリフレクション会議やミーティングを行い、日々の業務改善や療育内容の見直しをしています。	
	6	保護者様向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有しながら今後の支援につなげております。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者様向け評価票の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容の目標、事業所の会議やホームページ等で公開している	6		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトで公開しています。	今後も公式Web サイトで公開していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題として検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		年に一度は保護者様にアンケートを依頼し、ご意見を職員間で検討し、リフレクション会議などで課題や改善等を話し合っています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成している	6		保護者様との面談を通してニーズなどをお聞きするとともに、児童の状態をアセスメントし、成長と発達に応じた計画を作成しております。	
	11	児童の適応行動の状況を把握するために、標準的な方式でアセスメントツールを使用している	6		統一化されたアセスメントシートを使用し、内容を元に支援計画の作成へと繋げております。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		児童発達支援ガイドラインを遵守したうえで、児童一人ひとりに合った支援内容を設定し、計画を立てております。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		活動プログラムの立案は職員会議で提案を出し合うことで課題に沿った活動を実施しています。 利用児童の特性・現状と記録を参考に、その都度組み立て、共有しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		療育内容の見直し や話し合いを随時行い、固定化しないようプログラムの工夫に努めております。	
	16	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6		児童の発達に合わせて個別活動、集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成しております。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援内容や安全配分などについて確認している	6		業務内容についての共有および、児童の支援内容について打ち合わせを行っております。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		支援終了後には迅速などで会議を如にならないときもありますが、支援の中で気付いたことや気になることなど職員間で伝え合い、共有しています。共有内容は連絡ノートに記載し、不在の職員が1つでも確認できるようにしております。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		支援を行った職員が必ず程度記録を取り、できていら所やできていない所などを見直し、支援の検証・改善に勤めています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		定期的にふがモニタリングを行い、面談にて保護者様ご意向を踏まえ、児童の状況や課題などを話し合い、計画の見直しを判断しております。	
関係機関や保護者様との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最も深くふさわしい者が参画している	6		児童発達支援管理責任者や対象となる児童の状況を把握している職員が参画しております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		各関係機関と連絡を取り、連携を図っています。	
	23	（医療のケアが必要な児童や重症心身障がいのある児童等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6	現在医療のケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ体制があった場合は、情報に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	（医療のケアが必要な児童や重症心身障がいのある児童等を支援している場合） 児童の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6	現在医療のケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ体制があった場合は、情報に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		各関係機関とは、担当者会などで連携を図り、情報共有、相互理解を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		就学前の担当者会議などを通して情報提供・共有を図り、支援の方針が統一されるよう努めています。	
	27	他の児童発達支援センター や児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		各専門機関と連携し、担当者会議などに参加して情報共有をしています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園や小学校との交流および保育所の児童と活動する機会がある		6	今年度は事業所での交流機会はありませんでした。	事業所について理解を深めていただくため現状、近しい方々などを対象者がきてくれるよう考えていますが、保護者様のご協力にも配慮し、情報に検討していきます。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6		自立支援協議会へ積極的に参加しております。	
保護者様への説明責任等	30	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		送迎時などに保護者様にその日の様子を必ず伝え、共通理解を持てるようにしています。また保護者様と情報的な信頼関係を作り、より良い支援へ繋げております。	
	31	保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6		できる範囲の支援に努め送迎時や連絡帳のやりとりを通して、ご質問などへの助言を行っております。 保護者様からお悩みやご相談などがあった場合には、丁寧なアドバイスに努めております。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時には丁寧な説明をするように努めております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ている	6		ガイドラインに基づき、保護者様のご意向や児童の課題に合わせた児童発達支援計画を作成し、保護者様へ丁寧なご説明をしたうえで、同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		送迎時や連絡帳のやりとり、家庭連携を通して保護者様からの悩みやご心配などについて伺い、気持ちに寄り添った助言やアドバイスができるように心掛けております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどによより、保護者相同士の活動を支援している	6		今年度は保護者会の機会はありませんでした。	保護者様のご意見を伺いながら保護者様の交流の機会を検討していきます。
	36	子どもや保護者様からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、児童や保護者様に相談し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		現時点まで重大な苦情をいただいたことはありませんでしたが、苦情窓口と責任者を配置し、相談内容を記録し、ご意見をいただいた場合は速やかに対応させていただくよう努めております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	6		事前ごとにお便りを発行し、行事予定や制作活動の様子、おもちゃなどを発送しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		個人情報の取り扱いは慎重に行い、書類は施錠で各棚にて保管を実施しております。 また、利用児童の写真掲載は重要にて保護者様の同意を得たうえで、掲載しております。	
非常時等の対応	39	障がいのある児童や保護者様との連携の緊急時情報に沿ったための配慮をしている	6		児童には特性にのわせた伝達方法、保護者様には携帯電話に合わせ、分かりやすい言葉で伝えるよう心掛けています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招いたり、地域の人材を活用した事業運営を図っている		6	今年度は地域住民をご招待するような企画はできませんでした。	個人情報保護の観点や、保護者様のご意向を踏まえ、事業所主催の行事にお招きするなどの機会を企画・検討し、地域との交流も検討してまいります。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		保護者様に確認していただけるような掲示マニュアルを策定し、事業所の見やすい場所に掲示しています。 年間計画を立て各種マニュアルを元に訓練を計画、実施しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		定期的に地震、火災、風水害を想定した避難訓練を実施しています。 避難訓練の様子は、送迎時や連絡帳、お便りにて保護者様にご報告しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、入所入院等の児童の状況を確認している	6		事前に服薬や関係からの情報について聞き取りを行い、適宜対象には症状を詳しく確認しております。 また、全職員がマニュアルにそった対応を熟知して、緊急事態に適切な対応が行えるよう配慮しております。	
	44	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	6		アレルギーについては認証時に保護者様より詳細な情報をいただいています。 いただいた情報は全職員で情報共有と共通理解を行っております。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハット報告書の作成、保管を行い、職員で話し合う場を設け再発防止に努めています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしている	6		事業所内で職員研修を行い、虐待防止についての周知に努めています。 毎年、虐待や身体拘束などの研修を行っています。	
	47	どのような場合に中止を停ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	6		原則として契約書で身体拘束は禁止となっておりますが、やむを得ず必要となった場合には、児童や保護者様に十分なご説明を行い、承諾を得て、計画書にも記載しています。 事業所では職員に対して身体拘束に関する事業所内研修と知識の更新を行っています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。